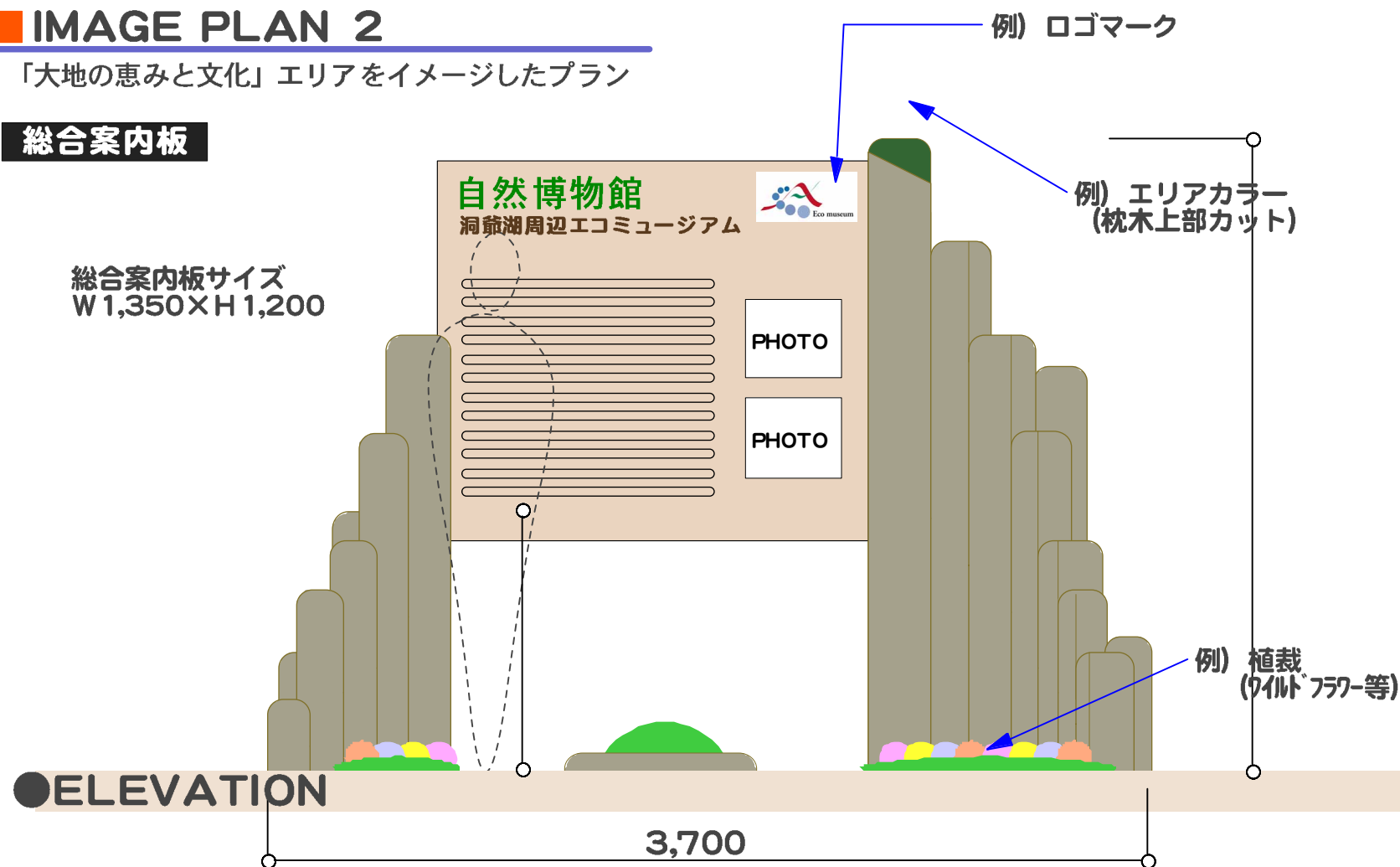


IMAGE PLAN 2

「大地の恵みと文化」エリアをイメージしたプラン

総合案内板

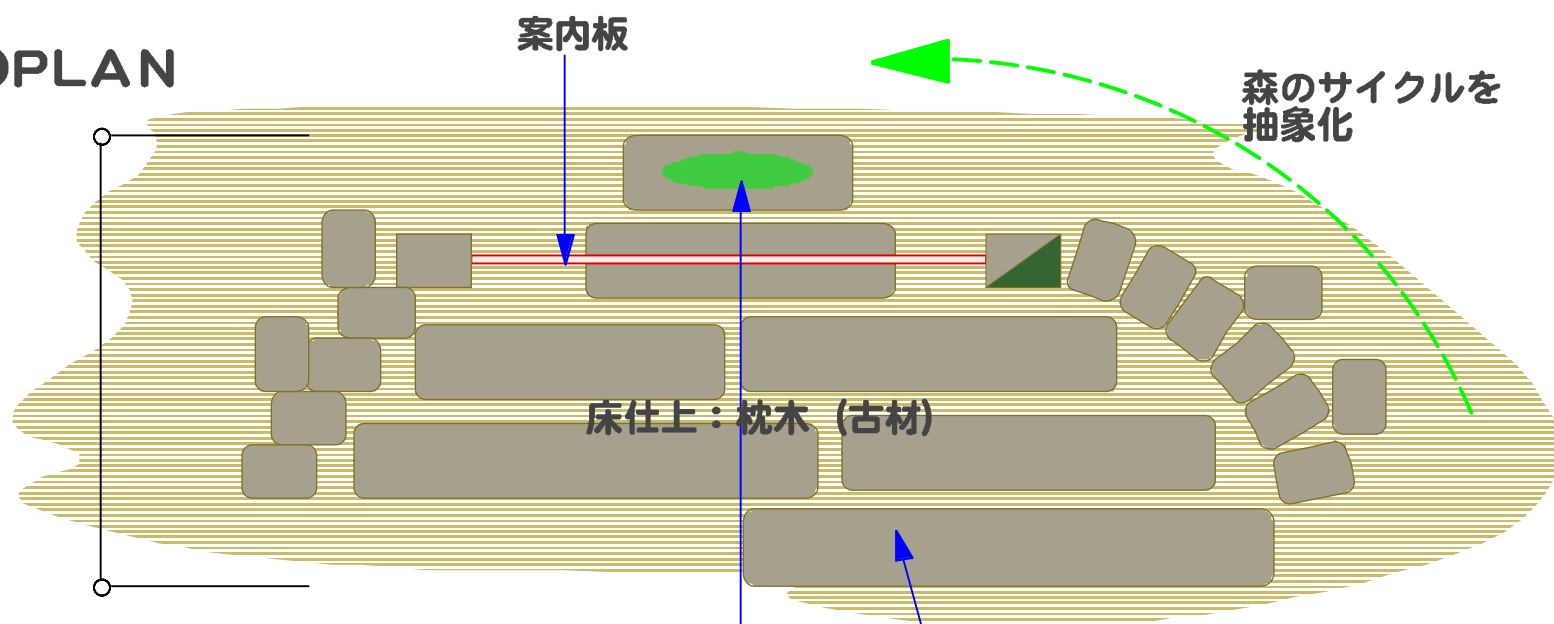
総合案内板サイズ
W1,350×H1,200



●ELEVATION

3,700

●PLAN



■倒木更新イメージ■

※倒木更新：老木が朽ちたのち、根株や倒れた幹上に落ちた種子が芽を出し、倒木に守られながら、幼木が育っていくこと

■床仕上イメージ■

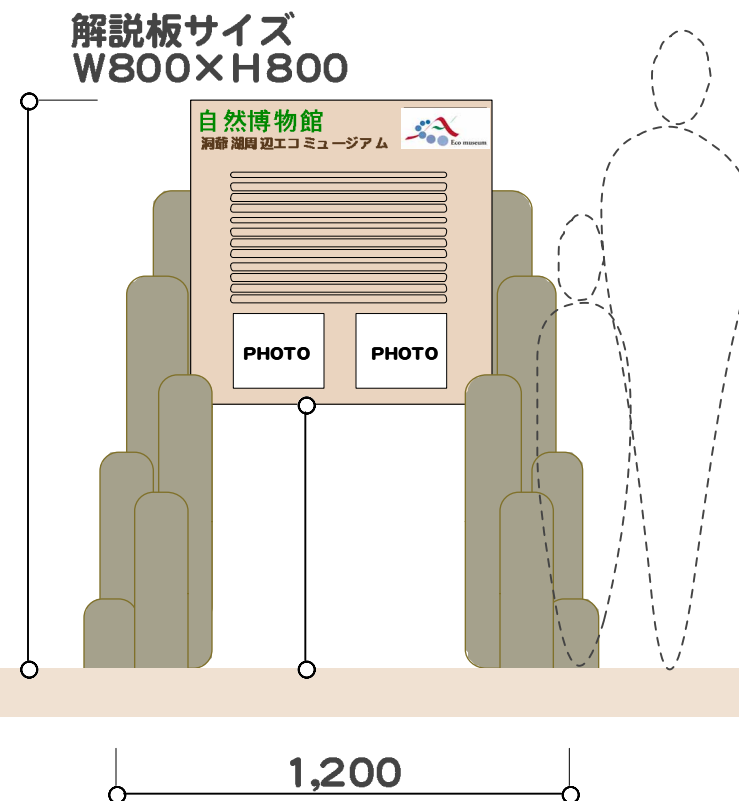
枕木を横使いして、乱に敷設



解説板

■素材としての枕木のイメージ■

解説板サイズ
W800×H800



■CONCEPT■

素材に木（枕木）を使い、据え付け時に高さを変化させることにより、幼木→成年木→倒木→倒木更新（次代の幼木）までを表現。親木から次世代の幼木へと引き継がれる過程、森で連綿と営まれる生命サイクルをモチーフにした案。またエコミュージアムにおける、住民の持続的取り組みの概念に通じるようなイメージを表現。サイン中央に中古枕木を据え付け・植栽し、倒木更新に見立てる。

■素材：枕木（中古品）+新規防腐剤加圧注入処理+バーナー焼き
耐久性の高い枕木を採用。最も耐久性が求められる総合案内板を支える支柱以外は、新品を使わず中古材採用し、古材の風合いを活かす。防腐剤については、古材の防腐性能が劣化しているため新たに注入処理を施して採用する。

■構造
解説板を支える支柱は、RC基礎（凍結深以下）をつくり、その他の支柱については、高さ調整用にベースモルタルを敷設した後、直に埋め込むことで（凍結深以下）敷設する。床下は火山灰（目地）+砂利敷きとして、透水性確保、凍上対策とする。

■コスト
素材のコストパフォーマンスは高い